

まつど未来づくり会議 会議録

分科会名：地域連携分科会

開催日時：平成21年8月7日（金）16時10分～19時

開催場所：松戸市議会棟 3階 特別委員会室

出席委員：小野瀬雄次、小山田美和子、金子雄二、喜久村徳雄、桑田雅子、
小寺邦明、後藤淳子、島尻武雄、松川正、丸山孝子、藪田京子、
鈴田正則、橋本守（敬称略）

事務局：田中千智（政策調整課）

会議内容

<分科会を始めるにあたっての思い>

- ・ 話し合いをする中でいろいろ勉強したい。
- ・ 地域でコミュニケーションをとりながらまちづくりをしたい。
- ・ 松戸市が現在どうなっているのかを知りたい。

<分科会長・副分科会長の互選>

分科会長：金子雄二委員

副分科会長：藪田京子委員

<今後のスケジュール>

第2回：平成21年8月31日（月）17時～20時

第3回：平成21年9月28日（月）17時～20時

第4回：平成21年10月19日（月）17時～20時

<テーマについての思い・課題意識の共有>

各委員が、それぞれの思いや課題意識をポストイットに記入し、別紙のとおり、表にまとめた。その表に基づき話し合いを行った結果、以下のような意見が出た。

【地域連携に関する意見】

- ◎ 「組織・場作り」に関する課題
 - ・ 協働をするための能力をいつでも発揮することができるシステム作り
 - ・ だれでも具体的に活動のできる場所作り
 - ・ 市民が参加しやすく、活動しやすいシステム作り
 - ・ 市民と行政が対等な立場で話し合える場作り
 - ・ 地域の問題を考えるための組織作り
 - ・ 問題を抱える人々が相談できる場所作り
 - ・ シルバー人材が活動できるシステム作り
 - ・ 一人一人が自分を地域に活かせる場所作り

- ◎ 支所が地域の中心となって問題を解決するなどの活動をしてほしい
⇒賛成する委員が多く、休憩時間中にも議論が白熱していた。

【人権に関する意見】

- ◎ 立場の違う人々が理解し、つながりが持てるような社会に。
 - ・ 外国人と日本人の市民が共生したまちづくりが必要
 - ・ 女性が差別されることなく働くことができる職場づくり。そのような職場作りを推進する企業を表彰するなどしたらどうか。
 - ・ バリアフリー化が必要
 - ・ ユニバーサルデザインのまちづくりが必要

【その他】

- まちづくり条例の理解・簡素化
- 48万人の市民全員が資源である
- 目に見える人とのつながりが必要
- 笑顔のあふれるまち

<本日の感想>

- ・ 皆が熱心で勉強になった。
- ・ 支所が地域活動を行ったほうが良いという意見に賛成する。
- ・ 分科会には、まちづくり条例を読み込んで来てほしい。

以上